

### あきる野市・栗原市 中学生友好親善交流会 ～今年も栗原市で開催～

7月25日(水)から27日(金)までの3日間、あきる野市と宮城県栗原市の中学生による友好親善交流会が行われました。

この事業は、「五日市憲法草案」起草者の千葉卓三郎の生誕地が宮城県栗原市(旧志波姫町)であることがきっかけで、平成元年から行われています。

昨年の交流会は東日本大震災の影響で中止となったため、2年ぶりの交流会となりました。あきる野市の生徒代表29人を含む38人の訪問団が栗原市を訪問し、3日間にわたる交流会を実施しました。

交流会は、生徒会活動による交流、部活動交流として男女のバスケットボール部による交流、参加生徒全員による体験活動が行われました。

生徒会活動交流では、あきる野市6校、栗原市2校の各生徒会代表が、生徒会活動の活性化について、グループごとに討論し、発表しました。その中で、各中学校の情報を共有することにより、今後の生徒会活動に反映できる交流となりました。

部活動交流では、男子は東中学校と栗原市2校、女子は西中学校と栗原市2校が対戦しまし

た。男女とも白熱した試合が行われ、スポーツを通じて交流を深めることができました。

体験活動では、栗原市の中学校教員を講師として招いて、生徒が互いにコミュニケーションをとりながら、協力して課題をクリアしていくゲームに取り組み、生徒同士の距離を縮めることができました。

3日間の交流会を通じて、それぞれの生徒が、日常の中学校生活では味わえない経験をすることができました。今回の交流体験により、あきる野市と栗原市の友好親善の輪がより広がっていくことが期待されます。



熱戦が繰り広げられた部活動交流



活発な意見交換が行われた生徒会活動交流

### 第4回あいさつ標語 カルタ大会を開催しました

第4回あいさつ標語カルタ大会を7月14日に五日市ファインプラザ体育室にて開催しました。

この事業は、「おとなが手本のある野市」推進事業として、一般市民から公募して作成した「あいさつ標語カルタ」を使い、毎年実施しています。参加者は4つの部門に分かれ、3人1組のチームで戦いました。今年の参加チームと優勝チームは次の通りです。

### 男女共同参画

#### ～あきる野市の取組～

男女共同参画社会の実現を図るために、国や各自治体は、男女共同参画計画を策定することが求められています。今回は、市の取組について取り上げます。

#### ☆あきる野男女共同参画プラン(男女共同参画計画)の改定

市は、あきる野男女共同参画プランの計画期間が満了したと、また、配偶者等への暴力への対応、仕事と生活の調和への対応など、新たな課題に対処するため、今年度、プランの改定に取り組んでいます。

- 1、小学生低学年の部(1・2年生) 15チーム
- 2、小学生中学年の部(3・4年生) 17チーム
- 3、小学生高学年の部(5・6年生) 15チーム
- 4、おとなと子どもとの部(小学生とおとなで編成) 6チーム

- 【優勝】菅生ガンバEX(菅生学園初等学校)
- 【優勝】増戸ミルキー3スターズ(増戸小学校)

#### ☆推進市民会議の設置

男女共同参画プランを実効性のあるものとするためには、市民と行政が連携し取組を進めていくことが重要です。このため、市民会議(公募の委員を含め6名で組織)を設置し、プランの見直しを行っています。

#### ☆男女共同参画計画とは

男女共同参画社会を実現するために、国をはじめとして、東京都や各市町村において、さまざまな施策への取組が行われています。

#### ☆計画の位置付け

男女共同参画社会基本法第13条は、国は男女共同参画社会の形成の促進に関する基本的な計画を定めなければならずと規定しています。また、同法第14



【優勝】ストロンクパワー このほか、東中学校3名、西中学校4名の生徒がボランティアスタッフとして参加し、大会の運営にあたりました。

条は、国だけではなく、都道府県や市町村に対しても計画の策定を求めています。この施策を体系的に構築したものが、一般的に男女共同参画計画と呼ばれるものです。市は、現在、平成16年に策定したあきる野男女共同参画プランに基づいて、施策の展開を図っています。

市では、現在、法の規定に基づき、国や東京都の計画を考慮するとともに、推進市民会議の意見も十分に反映したものととして、改定に取り組んでいます。来年度から、改定されたプランのもとに、男女共同参画社会の実現に向けた取組が、新たにスタートします。